

神奈川版オープンイノベーションの取組みについて

生活支援ロボットを最短期間で商品化するため、専門家のコーディネートにより、企業や大学等の各機関が持つ資源を最適に組み合わせて研究開発を促進している。

これまで、4件の共同研究開発プロジェクトを決定し、開発を進めており、今回新たに「外出支援アクティブ歩行補助車」を立ち上げる。

現在準備中のプロジェクトを含め、今後も新たなプロジェクトを立ち上げていく。

1 研究開発中のプロジェクト（4件）

プロジェクト名	参加機関	概要	備考
高齢者向け在宅見守りシステム	(株)バイオシルバー、(株)セック、bio sync(バイオシク)(株)、(株)ライフインフォメーションラボラトリー、(有)宇根元製作所、(株)富士通エフサス	「寝るだけ」で呼吸・心拍・体動・離床・着床等の状況をリアルタイムに感知する『マット型の生体センサー』等を活用するとともに、離床後の転倒検出用レーザーセンサーも開発して、高齢者に意識させずに24時間見守ることができるシステムを構築する。	転倒検出用レーザーセンサーを7月に試作品完成、性能の検証中。
災害対応マルチローター機	(株)横浜ケイエイチ技研、川本重工(株)、横浜国大、(株)日本サーキット、(株)TBSテレビ、(株)JVCケンウッド	火災などの災害時に、上空から情報収集や監視を継続して行うマルチローター型無人飛行体を開発する。横浜国立大学の「プロトタイプ推進事業」と連携し、水難救助にも活用する。	試作品完成、プレ実証フィールドを活用した実証実験を5月に開始、実施中。
社会インフラ点検と災害対応両用ロボット	(株)移動ロボット研究所、長岡技術科学大学、首都大学東京	平常時は、社会インフラのための検査ロボット、災害時は、倒壊された建物などの瓦礫に入って情報収集するロボットとして活用する両用ロボットを開発する。	10月までに国交省の実証施設に合わせた試作機を完成させる予定。
移動支援シルバーカー	川崎商工会議所、(株)トーキンオール、(株)日の出製作所、よこはまティーエルオー、明治大学	障害物回避や自律運転などの技術を用いた、車いすロボットタイプの移動支援シルバーカーを開発する。	8月末までに試作機を完成させる予定。

2 新たに立ち上げるプロジェクト（1件）

プロジェクト名	参加機関	概要	備考
外出支援アクティブ歩行補助車	日本精工(株)、(株)タクマ精工	上り坂でのアシスト機能や下り坂での制動機能を搭載した高齢者の外出支援ロボットを開発する。	27年2月末までに試作機を完成させる予定。

3 現在準備中のプロジェクト（2件）

プロジェクト名	概要
介護用リフト	従来の固定式リフトを改善し、持ち運び可能な折りたたみ式の小型・軽量のトラベルリフトを開発する。 (9月下旬見込み)
さがみレスキューロボット	個別のクローラー型移動ロボットを活用して、協調制御により、大きな移動ロボットシステムを開発し、災害現場に入り、情報収集や機材運搬を行う。 (9月下旬見込み)